

「マネーフォワード クラウド」API 利用規約

「マネーフォワード クラウド」API 利用規約（以下「本規約」といいます。）は、株式会社マネーフォワード（以下「当社」といいます。）が運営・提供するビジネス向けクラウドサービス「マネーフォワード クラウド」シリーズの各サービス（以下「本サービス」といいます。）の API（以下「本 API」といいます。）を、本 API の利用者（以下「利用者」といいます。）が利用するにあたっての諸条件について規定します。なお、本規約をご承諾いただけない場合、本 API を利用する権利は付与されませんので、ご注意くださいようお願い申し上げます。

第 1 条（定義）

本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによるものとします。

(1) 「アプリケーション登録」

本 API の利用希望者が本 API を利用するに際し、本サービスとの連携を行うアプリケーションを本サービス上で登録することをいいます。

(2) 「対象アプリケーション」

利用者が本 API を利用して、本サービスの機能又は本サービスから提供される情報を組み込んで提供するサービスをいいます。

(3) 「Client ID」

Client Secret と組み合わせて、本 API を利用するアプリケーションの認証に使用する符号をいいます。

(4) 「Client Secret」

Client ID と組み合わせて、本 API を利用するアプリケーションの認証に使用する符号をいいます。

(5) 「API キー」

Client ID 及び Client Secret 並びにその他情報の総称であって、本 API の個別の利用者の認証のために使用される符号、数列、その他情報の一切をいいます。

(6) 「会員」

当社が定めた手続に従い本サービスの利用を登録したユーザーをいいます。

(7) 「会員情報」

会員が本サービスに入力又は保存した情報であって、当該会員からの事前同意のもと、本 API の利用を通じて利用者に対し提供される情報をいいます。

(8) 「派生データ」

会員情報に由来し、会員情報に基づき作成され、又は会員情報を構成するデータ要素を反映するために作成若しくは記録された一切のデータ（会員情報を加工、編集、集計、匿名

化、又は銀行法第2条第21項第2号に定める加工を行ったデータにより処理して生成されるデータを含みます。)をいい、本規約において「会員情報」というときは、特に定めのない限り、派生データを含むものとします。

(9)「データ提供元」

会員情報の全部又は一部の提供元となる金融機関、クレジットカード会社及び決済事業者その他の第三者をいいます。

(10)「データ提供元契約」

当社がデータ提供元との間で締結する、スクレイピング又はAPI利用を含む一切の方式での会員情報のデータ提供に関する契約をいいます。

(11)「データ提供元制限事項」

データ提供元契約上の当社の遵守事項である、会員情報の利用、処理、第三者への移転、目的外利用、競合サービス構築、マーケティング利用その他に関する一切の制限事項をいいます。

第2条（提供目的）

- 1 本APIは、利用者が開発する対象アプリケーション上から、当該アプリケーションのユーザーに本サービスを使用させることを目的（以下「本目的」といいます。）として提供されます。利用者は、本目的を理解した上で、本目的に反しない範囲において、本規約中の定めに従い、本APIを利用することができます。
- 2 本サービス又は本APIのうち、いずれのサービス、API又は機能の利用が許諾されるかは、別途当社と利用者との間における合意により定まるものとします。

第3条（利用登録）

- 1 利用者は、本APIの利用を希望する場合、本規約の内容を承諾のうえ、当社が別途定める手続に従い、アプリケーション登録を行うものとします。当社は、利用者がアプリケーション登録を完了することをもって本規約に同意したものとみなします。
- 2 利用者は、アプリケーション登録にあたっては、当社が求める情報につき、真実かつ正確な情報を提供しなければなりません。提供された情報（以下「申込情報」といいます。）の内容に虚偽、誤り又は記載漏れがあったことにより利用者に生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 3 利用者は、申込情報に変更があった場合は、速やかに、別途当社の定める方法により、当該変更事項を当社に通知するものとします。利用者がかかる通知を怠ったことにより利用者に不利益が生じた場合であっても、当社は責任を負いません。

第4条（本APIの利用方法）

- 1 当社は、アプリケーション登録を行った利用者に対して、本規約及び必要に応じて当社が別途定める利用方法・利用条件の範囲で本APIを利用できる権利を付与します。
- 2 本サービスの提供を受けるために必要なコンピューター、ソフトウェアその他の機器、通信回線その他の通信環境等の準備及び維持は、利用者の費用と責任において行うものとしま

す。

第5条（API キーの管理）

- 1 利用者のアプリケーション登録が完了した場合、当社は、当該利用者に対し、本 API の利用に必要な API キーを発行します。
- 2 利用者は、自己の責任において API キーを管理及び保管するものとし、当社が事前に書面により同意した場合を除き、これを第三者に利用させ、又は貸与、譲渡、売買等をしてはなりません。
- 3 当社は、API キーとの一致を確認した場合、当該 API キーを保有する者として登録された利用者が本 API を利用したものとみなします。API キーの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等による損害の責任は利用者が負うものとし、当社は一切の責任を負いません。

第6条（利用料）

本 API 利用の対価は無償とします。ただし、当社と利用者との間で別途の合意により本 API の利用につき利用料が生じる旨合意された場合には、当該合意の内容に従うものとします。

第7条（会員情報の利用）

- 1 利用者は、会員が別途本サービス上又は対象アプリケーション上においてあらかじめ承諾した場合につき、本 API の利用により、会員が本サービスを通じて入力及び表示させている会員情報へアクセスし、当該会員情報を対象アプリケーションの提供に必要な範囲で利用することができます。
- 2 利用者は、本 API を利用して取得した会員情報を、利用者が対象アプリケーションを提供する目的のためにのみ利用することができ、それ以外の目的で利用してはならないものとします。
- 3 利用者は、会員の本サービス上での入力、編集行為により会員情報が変動することをあらかじめ了承します。利用者は、本 API を利用して取得する会員情報を常に最新の内容に更新して利用し、情報の更新後に利用者が最新の内容に合致しない情報を保有している場合、最新の内容に合致しない部分の情報を削除するものとします。
- 4 利用者は、本 API を利用して取得する会員情報を善良な管理者の注意をもって管理するものとします。
- 5 利用者は、本 API を利用して取得する会員情報の利用方法について、当社から指示を受けた場合、これに従うものとします。
- 6 利用者は、対象アプリケーションを提供する目的のために本 API を利用して取得した会員情報を利用する必要がなくなった場合、又は会員から削除要請があった場合、当該情報を削除するものとします。

第8条（当社の社名・サービス名称等の標章・ロゴの使用）

- 1 利用者は、対象アプリケーション上又は対象アプリケーション内に表示される本 API を利用して取得した会員情報が、当社より提供されたものである旨を表示することとします。
- 2 当社は、利用者に対し、本規約及び別途の当社の指示又は当社の定めるガイドラインの範囲で、当社の社名及びサービス名称の標章・ロゴ・画像（以下「クレジット」といいます。）の利用を

許諾します。

- 3 利用者は、クレジットの表示（HTML ソースを含みます。）の一部又は全部を除去、改変、改竄その他外観に対する変更を一切できないこととします。ただし、拡大・縮小その他クレジットの表示上必要やむを得ない改変を除くものとします。
- 4 利用者は、クレジットを、当社のイメージを汚損する態様、対象アプリケーションの閲覧者に対して当社と利用者が何らかの提携関係にあるかのような印象を与える態様、当社と利用者の提供するサービスが同一のサービスであると誤認混同するような態様で利用してはなりません。

第9条（禁止行為）

利用者は、本 API の利用にあたり、次の各号のいずれかに該当する行為又は該当するおそれのある行為をしてはなりません。

- (1) 本 API により提供される機能の提供のみを目的としたアプリケーションの提供のための利用、その他本 API を再提供することと同視し得るような態様による利用
- (2) 本サービス及び本 API の誤作動を誘引する行為
- (3) 本サービス及び本 API が通常意図しないバグを利用する行為又は通常意図しない効果を及ぼす外部ツールを利用する行為
- (4) 本サービス及び本 API のネットワークシステム又はサーバ等に過度な負荷をかける行為
- (5) 本サービス及び本 API に接続しているシステムに権限なく不正にアクセスし又は当該システムに蓄積された情報を不正に複製、複写、書き換え若しくは消去する行為
- (6) 本サービスを複製し、又は第三者へ譲渡若しくは再使用許諾する行為
- (7) 会員情報を対象アプリケーションの運営・管理の範囲を超えて利用する行為
- (8) 当社の知的財産権、名誉、その他の権利利益を侵害する行為
- (9) 本サービス及び本 API に対する逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、その他本サービス及び本 API のソースコードを解析する行為
- (10) 会員以外の者の利益のために会員情報を利用する行為（ただし、専ら会員自身の利益に資する範囲で第三者に会員情報を提供する行為を除きます。）
- (11) データ提供元と直接競合する商品又はサービスを開発、改善、維持又は提供することを目的として、本 API を通じて取得した会員情報を利用する行為（データ提供元における特定の会員区分、データ提供元の提供するサービス利用資格その他の属性情報自体を、当該データ提供元と直接競合する商品又はサービスの開発、改善、維持又は提供に利用する行為を含みます。）
- (12) 会員のデータ提供元における会員資格、会員区分、特定商品の購買にかかる顧客であることその他のデータ提供元における属性情報に基づいて、会員又は第三者を対象とするマーケティング、ターゲティング広告その他の広告配信、プロファイリングその他の行為を行うこと、又はこれらの目的のためのモデル、アルゴリズム若しくは AI 機能の構築・開発その他サービス開発に利用する行為

- (13) 本 API から取得した会員情報について、有償で、第三者に販売又はライセンスその他の方法で利用させる行為（本 API から取得した会員情報に関連する法人又は個人に対して必要な説明を行い同意の上で行う行為及び公認会計士又は税理士の資格を有する専門家である会員が当該専門家としての業務を実施する場合を除きます。）
- (14) 当社又は他の利用者その他の第三者に成りすます行為
- (15) 他の利用者の API キーを利用する行為
- (16) 本規約その他別途当社が定める本 API の利用条件に反する行為
- (17) 前各号の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- (18) その他当社が不適切と判断する行為

第 10 条（データ提供元制限事項の遵守等）

- 1 当社は、データ提供元契約及び当社に適用がある法令に基づき、本 API の利用について、会員情報のうち、提供するデータの種別、利用目的、利用方法その他の事項について、当社の裁量により、制限を行う場合があります。
- 2 利用者は、本規約の定め の 遵守を確保できない対象アプリケーションを、本 API の接続先として用いてはならないものとします。

第 11 条（違反の場合の措置等）

- 1 当社は、利用者が次の各号の一に該当し又は該当するおそれがあると当社が判断した場合には、当社の裁量により、本 API の利用の停止若しくは制限、アプリケーション登録にかかる登録の解除その他の措置をとることができるものとします。
 - (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
 - (2) 当社に提供された申込情報の全部又は一部につき虚偽の事実があることが判明した場合
 - (3) 利用者が支払停止若しくは支払不能となり、又は破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、特別清算開始若しくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合
 - (4) 当社からの問合せその他の回答を求める連絡に対して 30 日間以上応答がない場合
 - (5) 本サービス及び本 API の運営・保守管理上必要であると当社が判断した場合
 - (6) データ提供元制限事項に違反し、又は違反するおそれがある場合
 - (7) その他前各号に類する事由があると当社が判断した場合
- 2 当社は、本条に基づき当社が行った行為により利用者に生じた損害について一切の責任を負わず、本 API の利用の停止若しくは制限、アプリケーション登録にかかる登録の解除後も、当該利用者が当社に提供した情報を保有・利用することができるものとします。
- 3 利用者が第 9 条各号に掲げるいずれかに該当する行為を行い、若しくは当該行為を行ったと疑うに足りる相当な理由がある場合又は利用者による利用について当社が適当でないと判断した場合、当社は、利用者に対して、利用態様等について改善の要求又は本 API の全部又は一部の利用停止することができるものとします。なお、本項の措置により利用者に生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。

第12条（本API又は本サービスの変更、追加、廃止及び中断等）

- 1 当社は、いつでも、自己の裁量において、利用者への通知なく、全部又は一部の利用者に対して、本APIの全部又は一部の提供を停止すること、並びにアプリケーション登録の解除及び新規のアプリケーション登録の再登録を拒否することができるものとします。また、当社が利用者に対して本APIの利用の停止を求めた場合には、利用者は直ちに本APIの利用を停止するものとします。
- 2 当社は、本APIの運用上必要と判断した場合には、利用者による本APIの利用に一定の制約（本APIへのアクセス回数、アクセス時間の制限、本API用のURL及び当社の知的財産権へのアクセス制限等）を設けることができます。当社は、利用者に事前の通知をすることなく、本API及び会員情報等の全部又は一部の変更、バージョンアップ又は追加等を行うことができるものとします。
- 3 当社は、当社の判断により本API又は本サービスの提供の全部又は一部の提供を終了することができるものとします。当社は、当社の判断により本APIの全部又は一部の提供を終了する場合、当社が適当と判断する方法で事前に利用者にもその旨通知します。ただし、緊急の場合は利用者への通知を行わない場合があります。
- 4 当社は、次の各号の事由が生じた場合には、利用者にも事前に通知することなく、本サービス又は本APIの全部又は一部を一時的に中断することができるものとします。
 - (1) 本サービス又は本API用のハードウェア・ソフトウェア・通信機器設備等に関わるメンテナンスや修理を定期的又は緊急に行う場合
 - (2) アクセス過多、その他予期せぬ要因でシステムに負荷が集中した場合
 - (3) 会員又は利用者のセキュリティを確保する必要性が生じた場合
 - (4) 電気通信事業者の役務が提供されない場合
 - (5) 天災等の不可抗力により本サービス又は本APIの提供が困難な場合
 - (6) 火災、停電、その他の不慮の事故又は戦争、紛争、動乱、暴動、労働争議等により本サービス又は本APIの提供が困難な場合
 - (7) 法令又はこれらに基づく措置により本サービス又は本APIの運営が不能となった場合
 - (8) その他前各号に準じ当社が必要と判断した場合
- 5 当社は、対象アプリケーション又は利用者が、本規約に定める義務に違反し、データ提供元制限事項に抵触する利用を行い、又は会員情報の安全性、適法性若しくは適切性を害するおそれがあると合理的に判断した場合、利用者への事前通知なく、当該対象アプリケーション又は利用者からの本APIの接続を技術的に拒絶し、又は制限することができるものとします。

第13条（権利の帰属）

- 1 当社が提供する本サービス、本API、会員情報等に関する一切の知的財産権は、当社又は当社にライセンスを許諾している者に帰属します。利用者は、対象アプリケーションを提供する目的のためにのみ本APIを利用できるものとし、かかる範囲においてのみ本API、会員情

報等の使用をすることができます。

- 2 利用者は、いかなる理由によっても当社又は当社にライセンスを許諾している者の知的財産権を侵害する行為又はそのおそれのある行為をしてはなりません。

第14条（秘密保持）

- 1 本規約において「秘密情報」とは、利用者による本 **API** の利用に関連して、当社が利用者に対し、秘密である旨を示して、書面、口頭若しくは記録媒体等により開示された当社の技術又は営業上その他一切の情報を意味します。ただし、次の各号に該当するものは、秘密情報に該当しないものとします。
 - (1) 開示前に既に保有していたもの
 - (2) 開示の前後を問わず、自己の責めに帰せざる事由により公知となったもの
 - (3) 秘密保持義務を負うことなく第三者から適法に取得したもの
 - (4) 秘密情報によることなく単独で開発したもの
- 2 利用者は、対象アプリケーションを提供する目的以外の目的で秘密情報を使用してはならず、本規約において明示的に定める場合を除き、当社の事前の書面による承諾なしに、第三者に対し秘密情報を提供、開示又は漏洩してはなりません。
- 3 利用者は、秘密情報を複製、複写、翻案等してはなりません。
- 4 利用者は、当社から求められた場合はいつでも、遅滞なく、当社の指示に従い、秘密情報及び秘密情報を記載又は包含した書面その他の記録媒体物並びにその全ての複製物等を返却又は廃棄しなければなりません。

第15条（損害賠償）

- 1 利用者は、本規約に違反することにより、本 **API**、及び会員情報の利用に関連して当社に損害を与えた場合、当社に対しその全ての損害（弁護士等専門家費用及び当社人件費相当額を含みます。）を賠償しなければなりません。
- 2 利用者の責めに帰すべき事由に起因して、当社が、第三者から権利侵害その他の理由により何らかの請求を受けた場合、利用者は、当該請求に基づき当社が当該第三者に支払いを余儀なくされた金額及び当該請求に係る紛争等の解決のために当社が負担した金額（弁護士等専門家費用及び当社人件費相当額を含みます。）を賠償しなければなりません。
- 3 利用者は、本 **API** を利用者の自己責任に基づいて利用するものとし、利用者の本 **API** の利用によって発生する一切の損害について、当社がその賠償責任を負わないことを理解し、承諾するものとします。
- 4 当社は、前項にもかかわらず、法令その他何らかの事由により当社が利用者に対して損害賠償責任を負う場合においても、当社の賠償責任の範囲は、当社の故意又は重過失により当該利用者に現実に発生した直接かつ通常の損害に限られるものとします。
- 5 利用者による本 **API** の利用がデータ提供元制限事項に違反したことに起因して、データ提供元から当社に対して、契約違反の主張、損害賠償請求、契約解除、業務停止要求、その他の措置がなされ、又は当社がデータ提供元との関係でその他の損害（逸失利益、レピュテーション

への影響、関連する弁護士費用等を含みます。)を被った場合、利用者は、当社に対し、当社が被った一切の損害を賠償しなければなりません。

第16条 (保証の否認及び免責)

- 1 当社は、本 API 又は会員情報の利用が、利用者の特定の目的に適合すること、期待する機能・商用的価値・正確性・有用性・完全性を有すること、本 API 又は会員情報の利用が利用者に適用のある法令又は業界団体の内部規則等に適合すること、及び不具合が生じないことについて、何ら保証するものではありません。
- 2 利用者は、本 API 又は会員情報の利用若しくは参照、又はこれに関連して対象アプリケーションに関して生じうるあらゆる損害、責任、及びクレームに関し当社を免責することとします。
- 3 利用者は、本サービス又は本 API を使用する環境や通信状況の変化その他の外部的事情により、バグ・エラー等が生じる可能性があることにつき、あらかじめ了承するものとします。
- 4 当社は、本 API 又は会員情報の提供の中断、終了、利用不能、会員情報の誤り等に起因する損害、その他理由の如何を問わず本 API 又は会員情報の利用に関連して利用者に生じた損害につき、賠償する責任を一切負わないものとします。
- 5 本サービス、本 API 又は会員情報に関し、利用者と第三者との間で紛争が生じた場合、利用者は、直ちにその旨を当社に通知するとともに、自己の責任と費用においてこれを解決するものとし、当社はこれに一切関与せず、何ら責任を負わないものとします。
- 6 当社は、対象アプリケーションによる会員情報の取扱いがデータ提供元制限事項に抵触したこと、及びこれに起因してデータ提供元から当社又は利用者に対して請求、調査、契約解除その他の措置がなされたことに起因又は関連して、会員、利用者又は第三者に生じた損害について、一切の責任を負いません。

第17条 (モニタリング)

- 1 当社は、本 API 及び関連するサービスの信頼性を確保する目的で、利用者が提供する対象アプリケーション、利用者が運営するウェブサイト及び本 API に対する対象アプリケーションとの連携の状況を、クロールその他の方法でモニタリングすることができ、利用者は当該モニタリングを妨害してはなりません。なお、本条に定めるモニタリングは当社の裁量に基づき実施するものであり、当社がモニタリングの実施義務を負うものではありません。
- 2 当社は、本 API の安定的提供、会員情報の保護及びデータ提供元制限事項への適合性を確保する目的で、本 API に接続する対象アプリケーションの挙動を技術的にモニタリングすることができ、利用者は当該モニタリングを妨害してはなりません。
- 3 当社は、利用者のセキュリティ体制、会員情報の管理状況、又は本規約の遵守状況を確認する必要があると合理的に判断する場合、利用者に対し、書面による報告又は資料の提出を求めることができ、利用者はこれに商業上合理的な範囲で協力しなければなりません。
- 4 利用者は、対象アプリケーションがデータ提供元制限事項その他本規約に定める制限に違反するおそれがあると当社が合理的に判断する場合、当社が当該対象アプリケーションの動作に関する情報の提供を求めることがあることを了承し、これに合理的に協力するものとします。

第18条（有効期間）

- 1 本 API の利用契約（以下「本利用契約」といいます。）の有効期間は、本 API の利用申込時に合意された利用期間のとおりとします。ただし、期間満了の3ヶ月前までに当社・利用者のいずれからも何らの書面による申出がないときは、本利用契約は同条件で更に同期間継続されるものとし、その後も同様とします。
- 2 利用者が、本利用契約の有効期間中に本利用契約を解約した場合、利用者は、解約までの日数にかかわらず、直ちに利用期間満了までの利用料の全額を当社に支払うものとし、支払い済みの利用料がある場合には、当社は、当該既払利用料を返還する義務を負わないものとします。
- 3 当社は、利用者が本サービスを解約した後も、当該利用者が当社に提供した情報を保有・利用することができるものとします。

第19条（規約改定）

当社は、適宜本規約の内容を変更、追加又は削除できるものとします。当社が本規約を変更等した場合には、適宜に当社が定める方法により利用者に当該変更内容を知照するものとし、当該変更内容の通知後、利用者が本 API の利用を継続した場合、利用者がその変更を承諾したものとみなします。

第20条（反社会的勢力の排除）

本 API の利用に際し、利用者は、当社に対し、次の各号の事項を確約するものとします。

- (1) 自ら及びその役員が、反社会的勢力ではないこと、及び反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していないこと
- (2) 反社会的勢力に自己の名義を利用させ、本 API の利用を申込みものでないこと
- (3) 自ら又は第三者を利用して、当社に対し、脅迫的な言動又は暴力を用いる行為、風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて当社の業務を妨害し又は信用を毀損する行為、法的な責任を超えた不当な要求行為、その他これらに準ずる行為をしないこと

第21条（本規約上の地位の譲渡等）

- 1 利用者は、当社の書面による事前の承諾がある場合を除き、本規約に基づく利用者の権利若しくは義務、又は本規約上の地位について、第三者への譲渡、承継、担保設定、その他一切の処分をすることはできません。
- 2 当社が、本サービス又は本 API にかかる事業を第三者に譲渡し、又は当社が消滅会社若しくは分割会社となる合併若しくは会社分割等により本サービスに係る事業を包括承継させたときは、当社は、当該事業譲渡等に伴い、本規約上の地位、権利及び義務並びに申込情報その他の利用者に関する情報を当該事業譲渡等の譲受人又は承継人に譲渡することができるものとし、利用者は、あらかじめこれに同意するものとします。

第22条（分離可能性）

本規約のいずれかの条項又はその一部が無効又は執行不能と判断とされた場合であっても、当該判断は他の部分に影響を及ぼさず、本規約の残りの部分は、引き続き有効かつ執行力を有するものとします。当社及び利用者は、当該無効若しくは執行不能とされた条項又は部分の趣旨に従い、

これと同等の効果を確保できるように努めるとともに、修正された本規約に拘束されることに同意するものとします。

第 23 条（準拠法及合意管轄）

本規約は日本法に準拠するものとし、本規約に起因し又は関連する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 24 条（協議解決）

当社及び利用者は、本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合には、互いに信義誠実の原則に従って協議の上速やかに解決を図るものとします。

2017 年 2 月 24 日 制定

2018 年 11 月 27 日 改定・施行

2026 年 11 月 2 日 改定・施行